

取扱説明書 ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-4X1003
DMR-4X403
DMR-2X603
DMR-2X303
DMR-2X203

安全上のご注意
ご使用前に必ずお読みください。
(3～5ページ)

接続と設定を行う
(8～9ページ)

画面説明 ▶ 9
ページ

設定・視聴・通常録画 ▶ 10
ページ

全自動録画 ▶ 14
ページ

必要なとき ▶ 15
ページ

全自動 DIGA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続について

同梱の「接続ガイド」をご覧ください。

接続終了後は、「かんたん設置設定」を行ってください。(→8)

さらに詳しい操作説明は

<https://panasonic.jp/support/av/diga825/>

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。

Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。

(2024年9月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>



つなぎ方サポート

接続方法はここでも詳しくおしらせています。



<https://panasonic.jp/support/av/diga708/>

保証書別添付

ご案内

- 本書内で参照していただくページを(→○○)で示しています。
- 本書における本体および画面のイラストは、DMR-4X1003 のものです。

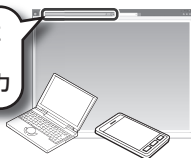
BS4K/110度CS4K 放送について **4X1003** **4X403**

- 従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波で放送される4K放送とBS・110度CSの左旋円偏波の電波で放送される4K放送があります。(本機では8K放送は受信できません)
2025年4月時点では、BS・110度CSでの左旋円偏波を用いた4K放送は実施されていません。
- 本書では「4K放送」と表現しています。
- 2X603** **2X303** **2X203** 4K放送は受信できません。

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



当社ホームページ内のサポートサイト
では以下の情報を掲載しています。

- よくあるご質問：動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書 活用ガイド：

サポートサイトは以下のアドレスからもご確認いただけます。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



どこでもディーガ

- ①本機で録画した番組・取り込んだ音楽・写真・動画を
スマホやタブレットで視聴できる
- ②スマホやタブレットで撮った写真・動画を「ディーガ」
に送れる

視聴アプリ「どこでもディーガ（無料）」のダウンロードが必要です。

ダウンロード・どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページまたはQRコードより
アクセスください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

【記載内容】

- ・ディーガ本体対応機器一覧
- ・設定・準備手順について
- ・FAQ（よくあるご質問）

「どこでもディーガ」の登録・設定には、スマホやタブレットとディーガ
本体と同じ宅内ネットワーク上で接続する必要があります。



本機の操作ができなくなったときは…



[**⏻**/I]を
3秒以上押す

- ① 本体の [**⏻**/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
 - ② 本体の [**⏻**/I] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
- 故障かな!? と思った場合 (→16)

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
 - 映像や音が出ないことがある
 - 内部に水や異物が入った
 - 電源プラグが異常に熱い
 - 本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない



(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

可燃性ガスのスプレー等を使用しない



清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない

- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない

- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 15 cm 以上離す



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかけて、けがの原因になることがあります。

注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

●設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

電源プラグ ●ディスクやUSB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になることがあります。

●特にお子様にはご注意ください。
指はさみ注意

スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない



磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない



病状悪化の原因になることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる



長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

付属品 / リモコンの準備 / 各部の働き

付属品

リモコン (1 個)

4X1003 4X403

N2QAYB001296

2X603 2X303 2X203

N2QAYB001295

電源コード (1 本)

K2CA2YY00402

アンテナケーブル (1 本)

(75Ω 同軸ケーブル)

K2KYYYY00040

リモコン用乾電池 (2 個)

単 3 形乾電池

B-CAS カード

4X1003 4X403 2X203

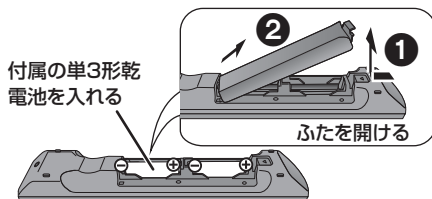
(1 枚)

2X603 2X303

(2 枚)

- アンテナケーブルは、地上デジタル放送の接続で使用してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 付属品の品番は、2024 年 9 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンに電池を入れる



リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

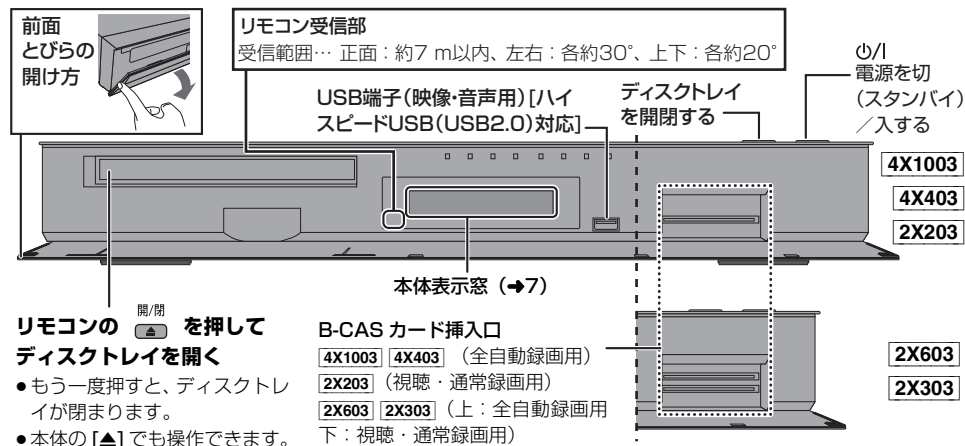
- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの公式通販サイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



本体前面



リモコンの  を押して
ディスプレイを開く

- もう一度押すと、ディスプレイが閉まります。
- 本体の  でも操作できます。

B-CAS カード挿入口

4X1003 4X403 (全自動録画用)

2X203 (視聴・通常録画用)

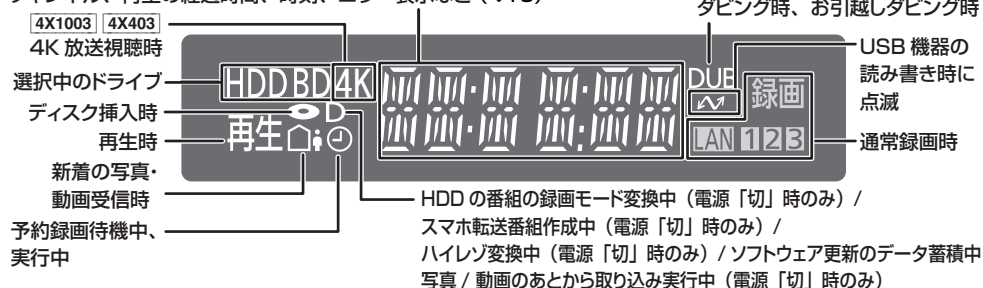
2X603 2X303 (上: 全自動録画用

下: 視聴・通常録画用)

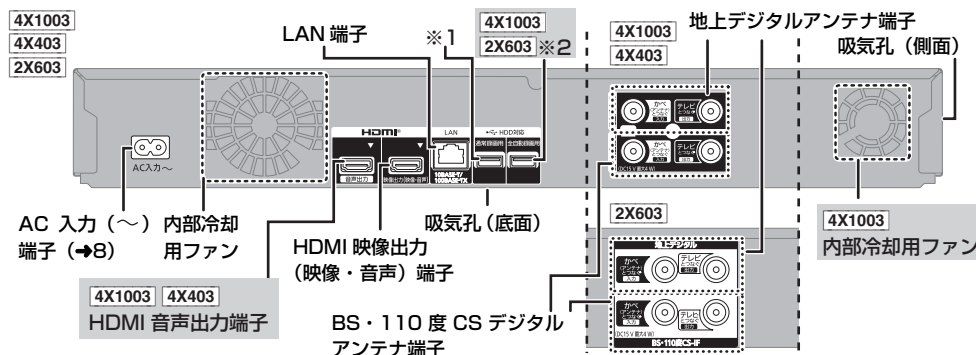
本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。  本体表示窓に時刻を表示させるには (→活用ガイド)

チャンネル、再生の経過時間、時刻、エラー表示など (→15)



本体背面



4X1003 2X603 USB 端子 (通常録画用、HDD 対応) / 4X403 USB 端子 (通常録画用または全自動録画用、HDD 対応)

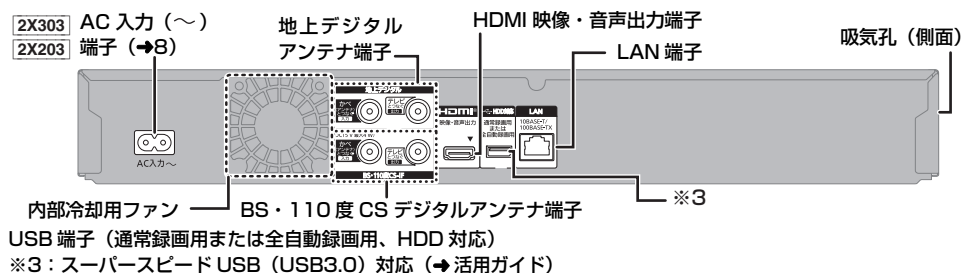
※1: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→活用ガイド)

●写真・音楽用 USB-HDD または SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合も、この端子に接続してください。

4X1003 2X603 USB 端子 (全自動録画用、HDD 対応)

※2: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→活用ガイド)

●HDMI 音声出力端子に接続した機器では、ピエラリンク (HDMI) 機能や 4K 出力機能は働きません。お買い上げ時の設定では、音声のみ出力できます。設定の変更は「音声出力端子設定」(→活用ガイド)で行ってください。

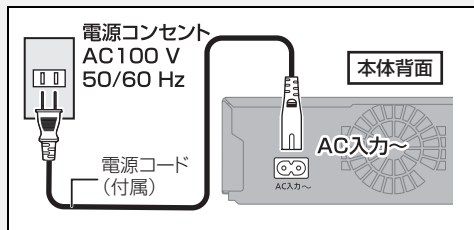


※3: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→活用ガイド)

●写真・音楽用 USB-HDD または SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合も、この端子に接続してください。

電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



🔌 本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 本機のリモコンの【全自動録画設定】→【青】を押して表示される全自動録画状態表示画面で「開始・停止」を選び、全自動録画を停止する
- ② 電源を切る
(本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ)
- ③ 電源プラグをコンセントから抜く

④ HDD の回転が完全に止まってから (3 分程度待つてから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています)

- 移動後、全自動録画状態表示画面で、「開始・停止」を選んで、全自動録画を再開してください。

🔌 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 →20)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

設定 かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機を HDMI で接続した入力に切り換えてください。

3 本機のリモコンの を押す

4 画面の指示に従って設定をする

🔔 お知らせ

- 本体表示窓に「SETUP」が表示されている状態で、テレビに映像が映らない場合は (→活用ガイド)

リモコンの設定

リモコンモードの設定

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。(→活用ガイド)

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの【テレビ電源】、【テレビ入力切換】、【音量 +,-】、【消音】でテレビを操作できます。

また、【テレビ操作】を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。

ネットワーク設定

- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備 (有線 LAN ルーター、回線端末装置) に接続してください。
- 本機は、電気通信事業者 (移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することはできません。
本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

有線 LAN で接続する場合

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。

「有線 LAN でネットワーク接続する」を選び、 を押す

無線 LAN で接続する場合

- ① 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、 を押す

- ② 接続方法を選び、 を押す

かんたん設置設定をする (続き)

■「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

③ 接続したい機器を選び、**決定**を押す

④ 暗号化キーを入力する

- 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



■「WPS (プッシュボタン) 方式」を選んだ場合

③ 無線ブロードバンドルーター(無線LANアクセスポイント)のWPSボタンを押す

- 操作方は接続する機器の説明書などでご確認ください。

④ **決定**を押す

●お知らせ

- 無線設定の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上(受信レベル 30 以上)点灯していることが、

安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。

🔧 設定終了後にネットワーク設定をやり直すには(→10)

チャンネル設定

ビエラリンク(HDMI) Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。

テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。

🔧 商品登録を行う場合(→裏表紙)

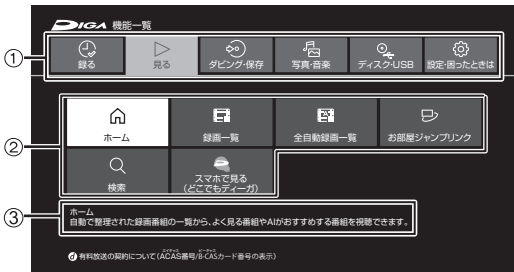
機能一覧画面から機能を選ぶ

機能一覧画面から本機の主な機能进行操作することができます。

1 **機能一覧**を押す

2 項目を選び、**決定**を押す

- リモコンの[◀][▶]で機能分類(①)を選び、[▼]で機能(②)へ移動します。
- 機能を選ぶと、その機能の説明が表示されます(③)。



例)

「設定・困ったときは」→「ヒント/困ったときは」	本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。ご使用時に困ったことなどがありましたらご覧ください。
「設定・困ったときは」→「設定」	本機の設定(放送設定/HDMI接続設定/全自動録画設定/ネットワーク設定/メール・情報/機器設定・診断コード)を変更や確認することができます。(→10)
「見る」→「全自動録画一覧」	指定したチャンネルを本機のHDDまたはUSB-HDDに自動で録画し、一時的に保存する「全自動録画」の一覧を表示します。 「全自動録画」について詳しくは活用ガイドをお読みください。



接続と設定を行う

画面説明

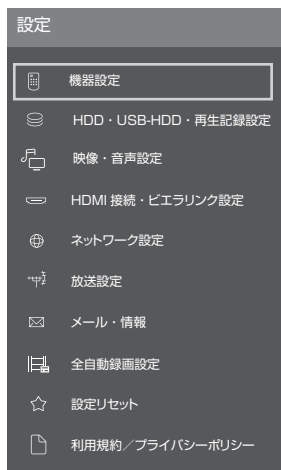
設定を変える

1 機能一覧を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、を押す

3 「設定」を選び、を押す

4 変更したい項目を選び、を押す



5 設定項目を選び、設定内容を変更する

詳細な設定は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をご覧ください。
(活用ガイド参照方法は → 表紙)

全自動録画の設定を変更する

全自動録画の設定変更は、活用ガイドの該当ページをご参照ください。

- 全自動録画設定を変更する
 - ・録画日数を延ばしたい
 - ・チャンネルを変えたい
 - ・すべての全自動録画をやめたい
 - ・予約録画の時間を増やしたい
 - ・HDD 領域を変更したい
 - ・追加チャンネル登録時の制限について
- など

受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナレベルの入力レベルは以下の数値が目安となります。

・地上デジタル：44 以上

・衛星：  信号品質 54 以上

   アンテナレベル 50 以上

- アンテナの説明書もご覧ください。

「放送設定」→「放送受信設定」の「受信アンテナ設定」を選んだあと

① 修正したい放送を選び、を押す

② アンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 「衛星」の場合、「アンテナ電源」を「入」にしてください。

受信チャンネルを修正する

「放送設定」→「放送受信設定」の「チャンネル設定」を選んだあと

修正したい放送を選び、を押す

地上デジタルの場合：

修正する方法を選んでください。

※BS/CS4K は   のみ

 放送局名が表示されない場合は

再度「放送設定」→「かんたん設置設定」を行ってください。

お知らせ

■ 設定リセット

- すべての設定リセット

日時設定以外の設定や全自動録画設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、全自動録画・予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!？」(→16)に記載された対応以外には、実行しないでください。

テレビ放送を見る / 放送中の番組を録画する

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 を押す
※**4X1003** **4X403** のみ
本体表示窓 例) BS101
チャンネル表示

2 **1** ~ **12** または を押して、
チャンネルを選ぶ

お知らせ

- 追加チャンネル (→活用ガイド) 登録時は、通常録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

番組表から選局

- 1** を押す
- 2** 放送中の番組を選び、 を押す
- 3** 「今すぐ見る」を選び、 を押す

お知らせ

- 4X1003** **4X403** 番組表に8K放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

3桁チャンネル番号を入力して選局

- 1** テレビ視聴中に、下記のボタンを押す
4X1003 **4X403**
- 2** **1** ~ **10** を押して、チャンネルを入力する

お好みチャンネルから選局

- 1** テレビ視聴中に、 を押す
- 2** 「お好みチャンネル」を選び、 を押す

お知らせ

- 録画中はお好みチャンネルができません。

データ放送を見る

- 本機では、データ放送を録画できません。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→活用ガイド)

データ放送のある番組を選局し、 を押す

- データ画面を消すには
[データ] を押す

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示する

- を押す

音声の切り換えや字幕の表示をする

- または を押す

はじめから再生

視聴中の番組の放送開始時点から再生を開始することができます。(全自動録画を設定しているチャンネルで全自動録画実行中のみ有効)

テレビ視聴中に、 を 1 秒以上押す

放送内容などの設定

信号切換などの設定を行うことができます。

- 1** テレビ視聴中に、 を押す
- 2** 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す

放送中の番組を録画する

HDD 通常録画用 HDD にのみ録画できます。
左記手順 2 のあと

3 を押す

4 録画モードを選び、 を押す

- 4X1003** **4X403** 4K 放送は、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

5 を押す

6 録画の終了方法を選び、 を押す

- 予約録画が始まり、複数の番組を録画できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。

録画を止める

- 1** を押す
- 2** 「はい」を選び、 を押す

予約録画する

番組表 (G ガイド) を使って通常の予約録画をする

- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には1日程度時間がかかる場合があります。

[4X1003] [4X403]

- [HDD] [BD-RE] [BD-R] [USB-HDD] (通常録画用フォーマット) に予約録画できます。
- 4K 放送の予約録画については (→13)

- ディスクへは、DR モードで1番組のみ予約できます。(4K 放送は予約録画できません / DVD には予約録画できません)

[2X603] [2X303] [2X203]

- [HDD] [BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR] [USB-HDD] (通常録画用フォーマット) に予約録画できます。
- ディスクへは、1番組のみ予約できます。(ビデオ方式のDVD には予約録画できません)

1



を押す

2

番組を選ぶ

選択中の番組紹介

放送の種類

放送局からのお知らせ

パネル広告: データを押すと詳細表示

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

文字サイズを変更するには [停止] を押す

リモコンのボタンの動き

選択中の番組

現在の録画モードを変更するには [録画モード] を押す

予: 録画予約中の番組

別々の放送の番組表を見るには: [地上][BS][CS][4K*] を押す (※[4X1003] [4X403] のみ)

3

決定を押す

- [決定] の代わりに [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと、簡単に予約を完了できます。(予 が表示されます)

4

「番組予約へ」を選び、決定を押す

5

項目を選び、決定を押す

- 予約済みの番組を重複して予約することはできません。

4X1003 4X403

4K 放送の予約録画について

- HDDとUSB3.0対応のUSB-HDDにのみ予約ができます。(USB3.0 非対応のUSB-HDD とディスクには予約できません)
- 4K 放送の予約録画は最大 2 番組まで同時に録画できます。ただし、追加チャンネル(4K 放送の全自動録画含む)を登録している場合は、同時録画は 1 番組のみです。
- 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 1.5 ~ 15 倍速モードで録画できません。

詳細設定をする

12 ページ手順 5 で「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

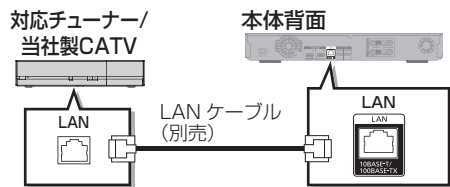
項目を選び、設定する

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→右記)

スカパー！ プレミアムサービス対応チューナー /CATV(ケーブルテレビ) から録画する



- ネットワーク接続と設定をする(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください) (→活用ガイド)
- お部屋ジャンプリンク/スカパー！Link (録画) 設定 (→活用ガイド) を「入」にして使用してください。
- 4K 放送番組の録画はできません。

HDD

対応チューナー /CATV 側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、操作を行う



予約状況がマークで表示されます。

- 「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約でHDDの残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「!」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。

- 予約を取り消す場合は[黄]を押してください。
- 予約内容を修正する場合は[決定]を押したあと、「修正」を選んでください。

お知らせ

- [予約確認]を3秒以上長押しすると、音声ガイドの設定画面が表示されます。

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

- 以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。
 - 複数の番組を録画できない状態のとき
 - USB3.0 非対応のUSB-HDD に予約しているとき
- 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。

予約番組が重なっているとき

- 予約一覧画面 (→上記) で「重複」マークが表示されている番組は、一部またはすべてが録画できません。
- 開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。
- 開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

全自動録画を楽しむ

全自動録画は、指定したチャンネルを本機の HDD または USB-HDD に自動で録画し、一時的に保存する機能です。全自動録画では、全自動録画用 HDD、全自動録画用 USB-HDD の容量が不足すると、自動的に古い番組から上書き消去します。

残しておきたい番組は、通常録画用 HDD、通常録画用 USB-HDD またはディスクに保存してください。(→ 活用ガイド)

■ 全自動録画できるチャンネル数

登録できるチャンネル数	4X1003	4X403	2X603	2X303	2X203
追加チャンネルを登録しない場合	8	4	8	4	
	BS・CS 放送は 3 チャンネルまで				BS・CS 放送は全自動録画できません
	4K 放送は全自動録画できません		—		
追加チャンネルを登録する場合 (→ 活用ガイド)	10 (9*)	6 (5*)	10	6	
	BS・CS 放送は 5 (3*) チャンネルまで				BS・CS 放送は 2 チャンネルまで
	4K 放送は 1 チャンネルのみ		—		

※ 4K 放送を全自動録画する場合に、登録できるチャンネル数

追加チャンネルを登録すると、通常の予約録画が 1 番組のみとなり同時録画ができなくなるなどの制限があります。追加チャンネル登録時の制限について (→ 活用ガイド)

全自動録画した番組を再生する

1 を押す

2 番組を選び、を押す

全自動録画した番組を保存する

保存した番組は、録画一覧で再生・編集・ダビングが可能です。

■ コピー制限のある番組の保存について

全自動録画番組では、ダビングの残り回数が通常録画した番組と違って以下ようになります。

- 通常録画用 HDD、USB-HDD に保存する場合：
全自動録画用 HDD は  になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。
- BD-RE、BD-R に保存する場合：
全自動録画用 HDD の残りの回数は 1 回減り、ディスク側では  になります。
-  の番組を保存する場合：
保存先の種類に関係なく、全自動録画用 HDD は  になり、全自動録画一覧では再生できなくなります。

お知らせ

-   4K 放送を全自動録画する場合、追加チャンネルでのみ登録できます。
- 有料の BS・CS 放送を全自動録画する場合は、有料放送事業者との視聴契約が必要です。
- データ放送は録画できません。
- 本機の安定性維持のために行われるメンテナンス中は、全自動録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。
(メンテナンス時間は 1 日 5 分～最長 6 0 分です)
- メンテナンスや全自動録画設定など全自動録画を一時中断する動作が行われると、中断された番組は全自動録画一覧では分割して表示されます。

全自動録画の設定を変更する

全自動録画の設定を変更する (→10)

よくあるご質問 / こんな表示が出たら

「ヒント／困ったときは」機能のご紹介

【機能一覧】 ボタンを押して、「設定・困ったときは」→「ヒント／困ったときは」を選べば、本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。

記載の無い表示がされた場合はこちらからご確認ください。



表示文字	調べるところ・原因・対策
PLEASE WAIT	● 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
1/5	● ネットワークからのダウンロードまたはオンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
1111 (2)	● 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 ● 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ● 4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
1111 *	● アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
1111 *	● 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ● 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
1111 *	● ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
1111 *	● 映像出力エラーが発生しています。 ● HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き、本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほりを取り除き、しっかり奥まで接続し直したあと、もう一度電源を入れてください。 ● 改善しない場合は HDMI ケーブルを交換してください。
1111 *	● 本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ● USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
1111 *	● 再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
1111 *	● 本機が正常に動作しません。本体の[切/入]を押して、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
1111 1111 *	● 異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。左図中の数字 00 は例です） 本体の[切/入]を3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

本体表示窓

全自動録画

必要なとき

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」（→ 裏表紙）へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!？」の内容は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)も併せてご覧ください。
(活用ガイド参照方法は➡表紙)

当社ホームページ(➡2)も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
 - 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切/入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中(全自動録画を含む)
 - ・ 写真や動画を自動で保存中
 - ・ 予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に1回程度)の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)
- など

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の[⏻/⏻]を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにするとう強制的に切れます。



—[⏻/⏻]を
3秒以上押す

(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

- ② 本体の[⏻/⏻]を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく動いていないことがあります。

録画できない/録画に失敗する/ 再生できない/操作できない/フリーズする

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
 - ・ アンテナが抜けている、またはアンテナレベルが低い
 - ・ B-CASカードが抜けている
 - ・ HDDの残量がない

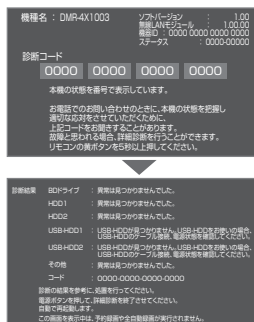
- ディスクやUSB-HDDには[ワンタッチ予約 録画 ●]を押しても、録画できません。
- 本体機器を設定リセット(➡10)にて初期化することで改善する場合があります。
ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、全自動録画・予約内容も消去されますので、ご注意ください。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、機器の状態を診断することができます。

- 【機能一覧】 ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「機器設定」→「診断コード」→【黄】を5秒以上押して詳細診断を行ってください。

例)



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

全自動録画が停止している

- 以下の手順で本体を一度リセットしてください。
 - ① 本体の[⏻/⏻]を3秒以上押しリセットする
 - ② B-CASカードを抜き差しする
 - ③ 本体の電源を入れる
 - ④ 全自動録画が再開しているか確認する(➡活用ガイド)

予約をしていない番組が録画される

- 「おまかせ録画」(➡活用ガイド)などの設定をしていると、本機は自動的に番組の録画をします。

映像が映らない

- アンテナケーブルの接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→ 活用ガイド)
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。
- 本体の[⏻/⏮]を3秒以上押し、一度リセットしてください。
- 「かんたん設置設定」(→8)を実行して、チャンネルを再スキャンしてください。
- **4X1003** **4X403** HDMI 音声出力端子にテレビを接続していませんか。HDMI 映像出力端子に接続してください。
- 「テレビに本機の映像が映らない」(→ 活用ガイド)をご覧ください。

テレビ放送の映りが悪い / 不安定になる

- アンテナレベルが不足している場合があります。「放送受信設定」(→10)にある、「受信アンテナ設定」内のアンテナレベルを確認してください。
 - ・ 地上デジタル: 44 以上が目安
 - ・ 衛星: **4X1003** **4X403** 54 以上が目安
2X603 **2X303** **2X203** 50 以上が目安
- 「テレビ放送が映らない / 映りが悪い」(→ 活用ガイド)をご覧ください。

地上デジタル放送の特定のチャンネルが映らない

- 「受信チャンネルを修正する」で「初期スキャン」の受信帯域を「全帯域」にして実行してください。(→10)

110 度 CS4K 放送や一部の BS4K 放送が映らない **4X1003** **4X403**

- 受信するためには、SH マーク対応の BS・CS デジタルアンテナが必要です。(→ 活用ガイド)
- 接続方法をご確認ください。(→ 活用ガイド)
- あとから対応アンテナを設置した場合は、再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→8)

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の[⏻/⏮]を3秒以上押し
 - ・ 本体の電源が切れます。
 - ② **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に5秒以上押し
 - ・ 本体表示窓に“OO RET”が表示されます。
 - ③ 本体表示窓に“O6 FTO”が表示されるまで**[▶]**(リモコンの右ボタン)を押す
 - ④ **[決定]**を押すディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約30秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください) ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

リモコンが動かない

- 本体表示窓に「U30」が表示される場合、本体とリモコンのリモコンモードが異なっています。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字
ボタンを押しながら、
[決定]を3秒以上押したま
まにしてください。

- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・ **[テレビ操作]** が点灯していますか。
 - ・ テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(→ 活用ガイド)

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。

B-CAS カードが認識されない

- 本体の[⏻/⏮]を3秒以上押し、リセットしたあと、B-CAS カードを抜き差ししてください。

USB 機器が認識されない

- USB 機器が正しく認識されない(USB 機器画面が表示されない)場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。

「このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。(* * * *)」の表示が出て番組を視聴できない

- (* * * *) の表示が (A103) または (8901) の場合は、ご視聴の放送事業者にお問い合わせください。
- (* * * *) の表示が (A103) または (8901) 以外の場合は、本体の[⏻/⏮]を3秒以上押し、一度リセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気を付けください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器IDや機器パスワードなどの個人情報記録されます。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任を負いません。

本機を廃棄／譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、[機能一覧]→「設定・困ったときは」→「設定」→「ネットワーク設定」→「ディモ／使用情報の送信設定」で機器登録を解除してから、「HDD設定」の「HDDのフォーマット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDDを通常録画用や全自動録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDDやUSB-HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いおよび免責事項について

本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様の負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任を負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元でない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

放送サービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1か月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 宅外リモート接続機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- AI おすすめ機能
- その他の放送サービス事業者が提供するサービス

4X1003 4X403

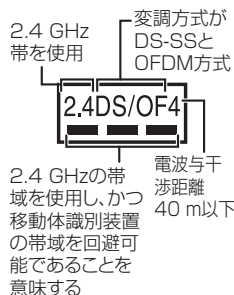
無線 LAN/Bluetooth® 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

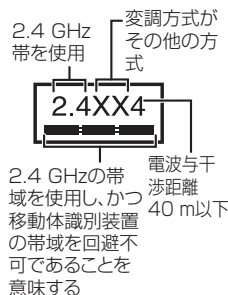
無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯、Bluetooth® は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた /Bluetooth® の周波数表示の見かた (本体背面に記載)

無線 LAN



Bluetooth®



2X603 2X303 2X203 無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた (本体背面に記載)



■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、DIGA(ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（裏表紙に記載）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙の DIGA(ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口へお問い合わせください。

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解/改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 無線認証 ID 表示について

本機の無線装置の認証 ID は以下の操作で画面に表示することができます。

[機能一覧] → [設定・困ったときは] → [設定] → [機器設定] → [認証 ID について]

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- 4X1003 4X403** すべての Bluetooth® 機能対応機器との Bluetooth® 無線通信を保証するものではありません。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

必要ととき

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

4X1003 電源：AC 100 V、50/60 Hz 消費電力： 動作時：約 54 W 待機時（クイックスタート「切」）： 時刻表示消灯時・約 0.15 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」省エネ）： 時刻表示消灯時・約 14.0 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」標準）： 時刻表示点灯時・約 15.0 W ^{*1 ※2}											
4X403 2X603 電源：AC 100 V、50/60 Hz 消費電力： 動作時： 4X403 約 39 W 2X603 約 43 W 待機時（クイックスタート「切」）： 時刻表示消灯時・約 0.15 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」省エネ）： 時刻表示消灯時・約 12.0 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」標準）： 時刻表示点灯時・約 13.0 W ^{*1 ※2}											
2X303 2X203 電源：AC 100 V、50/60 Hz 消費電力： 動作時： 2X303 約 33 W 2X203 約 32 W 待機時（クイックスタート「切」）： 時刻表示消灯時・約 0.15 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」省エネ）： 時刻表示消灯時・約 6.5 W ^{*1} 待機時（クイックスタート「入」標準）： 時刻表示点灯時・約 8.0 W ^{*1 ※2}											
※1 ・地上デジタルアッテネーター：「入」 ・BS・110度CS デジタルアンテナ電源：「切」 ・BS・110度CS デジタルアンテナ出力：「切」 ・外部接続端子（LAN、USB）：未接続 ・無線 LAN：未接続 ・録画未実行時 ※2 ・HDMI 出力解像度：1080i 待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など 本機が動作している場合の消費電力は増えます。											
年間消費電力量 （表示値は JEITA 基準 による算出式を基に算 出した参考値です）	<table><tr><td>4X1003</td><td>44.9 kWh/ 年</td></tr><tr><td>4X403</td><td>34.0 kWh/ 年</td></tr><tr><td>2X603</td><td>37.9 kWh/ 年</td></tr><tr><td>2X303</td><td>27.5 kWh/ 年</td></tr><tr><td>2X203</td><td>26.9 kWh/ 年</td></tr></table>	4X1003	44.9 kWh/ 年	4X403	34.0 kWh/ 年	2X603	37.9 kWh/ 年	2X303	27.5 kWh/ 年	2X203	26.9 kWh/ 年
4X1003	44.9 kWh/ 年										
4X403	34.0 kWh/ 年										
2X603	37.9 kWh/ 年										
2X303	27.5 kWh/ 年										
2X203	26.9 kWh/ 年										

■本体

寸法：

- 4X1003**
幅 430 mm×高さ 66 mm×奥行き 239 mm
（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 66 mm×奥行き 249 mm
（突起部含む）
- 4X403** **2X603**
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 239 mm
（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 249 mm
（突起部含む）
- 2X303** **2X203**
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 199 mm
（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 209 mm
（突起部含む）

質量：

- 4X1003** 約 4.0 kg
- 4X403** 約 3.3 kg
- 2X603** 約 3.8 kg
- 2X303** 約 2.5 kg
- 2X203** 約 2.4 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10％～80％RH（結露なきこと）

■HDD の記憶容量

- **4X1003** 10 TB
- **4X403** 4 TB
- **2X603** 6 TB
- **2X303** 3 TB
- **2X203** 2 TB

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- **[HDD]**：
通常録画：10000
（スマホ転送番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- **[BD-RE]^{*3}** **[BD-R]^{*3}** **[R-AVCREC]**：200
- **[R-VR]** **[R-V]** **[RW-VR]** **[RW-V]**：99
- **[USB-HDD]**（通常録画用フォーマット）：10000
（撮影ビデオは記録できません）
- **[USB-HDD]**（SeeQVault フォーマット）：10000
※3 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

「仕様」の詳細は、「取扱説明書 活用ガイド」
（PDF 形式）をご覧ください。
（活用ガイド参照方法は ➡ 表紙）

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Brands LLC および/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
Gガイドは、米国Xperi Inc. および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国Xperi Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- "Master Grade Video Coding" の文字およびロゴはパナソニックホールディングス株式会社の登録商標です。
- 「マスターグレード」Master Grade」は(株)バンダイの登録商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2024
- "DVD Logo" はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™"、"WPA3™" は "Wi-Fi Alliance" の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。

- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[機能一覧] ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→「青」ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- AURO-3D™ は NewAuro の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[機能一覧] ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→「青」ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能 (かな漢字変換や番組の検索等を含む) の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー (ダビング) が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

著作権など (続き)

- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本機は 2024 年 9 月現在のデジタル放送規格の運用条件 (著作権保護内容) に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 「位置参照情報ダウンロードサービス」(国土交通省) (<https://niftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>) を加工して作成



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口： oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

(1)MS/PlayReady/Final Product Labeling
This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2)MS/PlayReady/End User Notices
Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にともない、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性があります。いずれの場合も表示部上またはサポートサイト (<https://panasonic.jp/support/av/diga601/>) 上に事前に周知されます。③当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用規約に同意いただけない場合は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

B-CASカード番号

ACAS番号

- ※ B-CAS カード番号を記入してください。
4X1003 4X403 ACAS 番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。
ACAS 番号を確認するには (→活用ガイド)
- ※ 4X1003 4X403 ACAS チップが故障した場合には、
部品交換修理になり、ACAS 番号が変わります。
その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更
連絡してください。

修理を依頼されるときは
「故障かな!？」(→16) でご確認のあと、直らないと
きは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下
記の内容をご連絡ください。

● 製品名

ブルーレイディスクレコーダー

● 品 番

☐ DMR-4X1003

☐ DMR-4X403

☐ DMR-2X603

☐ DMR-2X303

☐ DMR-2X203

 お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況

できるだけ具体的に

必要
な
と
き

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、
おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- ※ 補修用性能部品の保有期間 8 年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れ
などのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。
お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→16)
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます

QRコード

SAMPLE



お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!？」(→16)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-982

パナは キュウパチ

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-554

パナは イイヨ

- 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**



便利な修理サービスサイト

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

本機の使用、何らかの不具合により、正常に録画・編集できなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容 (データ) の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号
© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024-2025

TQBS0532-1
F0924KY1035